



社協だより かこがわ

2024 July

7

No.284

編集・発行：社会福祉法人
加古川市社会福祉協議会

地域に広がる交流の輪



犬とのふれあいを通して会話がはずむ交流会（西神吉町正岸寺にて）

2面・3面では、他のふれあい交流会を紹介しています。



もくじ

地域の虹……………2・3
令和5年度事業報告・決算報告……………4・5
ボランティアナビゲーション……………6

義援金・善意銀行だより……………7
お知らせ……………8

この広報紙は皆さまからの赤い羽根共同募金配分金の一部でつくられています。

地域の虹

ちいきのにじ



VOL.18

市内では、各地区ささえあい協議会活動をはじめ、健康づくりや介護予防、同じ地域に暮らす住民相互の「交流の輪づくり」が展開されています。

加古川西公民館エリアささえあい協議会では、令和5年12月～令和6年5月の期間、介護予防や住民同士のつながりづくりを目的とした「かこにし健幸ウォーキング」を実施しました。そこで今回は、東神吉町・西神吉町・米田町の各ウォーキングチェックポイントで実施された「ふれあい交流会」をご紹介します。

米田町

笑顔あふれる交流会



● 園児の合唱を楽しむ参加者 ●

1月19日（金）、米田会館で「ふれあい交流会」を開催しました。川西こども園の園児による合唱と演技が披露され、参加者は「こども達の一生懸命な姿を見ると元気をもらえる」と喜ばれました。

ボランティアグループ「笑会」^{しょうかい}による腹話術・マジックでは、多彩なパフォーマンズで、会場からたくさんの笑みがこぼれていました。

また、健康の秘訣について意見交換をし、「外出の楽しみを見つけること」「人と会っておしゃべりをする」といった声が聞かれました。

西神吉町

神社で学ぶ地域の歴史

神吉八幡神社の社務所では、ウォーキングの期間中、毎月第4土曜日に「お話し会」を開催しました。2月24日（土）は、宮司の喜多山 一洋さん^{きたやま かずひろ}による「神吉城と神社」の講話があり、参加者は熱心に耳を傾けられていました。

その後の茶話会では、お茶と手作りケーキが参加者に提供され、宮司さんと一緒におしゃべりをして、楽しいひとときを過ごしました。

1人で参加された方からグループで参加された方まで、住民同士が交流するよい機会となりました。



● 新たな知識が得られる心地よい時間 ●

東神吉町

温かさと絆が深まるお花見会

3月31日(日)、加古川ウェルネスパークの北側駐車場付近でお花見会を実施しました。

準備は、協議会メンバーに加え、町内会長、民生委員・児童委員、ボランティアの協力を得て、実施しました。

桜のつぼみがほころぶ中、準備した100食のぜんざいが振る舞われました。参加者からは、「心も体も温かくなり、初めての人とおしゃべりが弾んだ」といった声が聞かれました。

たくさんの住民が参加し活動に関わることで、住民同士のつながりを深めるよい機会となりました。



● お花見会の様子 ●

新たなつながりが広がる交流会

5月13日(月)、東神吉会館で「ふれあい交流会」を開催しました。ボランティアグループ「加古川西マジッククラブ」は、参加者に手伝ってもらいながら進める参加型で、会場から大きな笑い声や、「えー、なんで」「すごい」という歓声があがり、大盛況でした。

情報交換会では、参加者同士で地域の魅力や困りごとなどを語り合いました。それを通して、住民同士の新たな交流が広がりました。



● マジックに歓喜する参加者 ●

～掲示板も見てね～



かこちゃん◎

ふくくん◎

総合福祉会館1階エレベーター前の掲示板で、市内各地区ささえあい協議会の取り組みや、地域活動の情報を発信しています。

ぜひ一度お立ち寄りください。



社協には、市内各地区担当の生活支援コーディネーターがいます。地域活動で気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

問合せ先:地域福祉推進係 TEL:079(424)4318(代)



社協では、第4期地域福祉推進計画に基づき、様々な事業を実施しています。ここでは、令和5年度に取り組んだ主な事業と決算を報告します。

1 住民主体のお互いさまの地域づくり

●生活支援体制整備事業（加古川市受託事業）

高齢になっても誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりをめざし、市内12中学校区ごとに地域の多様な団体が参画し、ささえあいのまちづくりに取り組む「ささえあい協議会」の運営を進めました。

各校区に担当の生活支援コーディネーターを配置し、住民が抱える生活課題把握やその課題解決にむけての社会資源調査に取り組みました。

住民同士のつながり・交流機会づくりを目的としたイベント開催や高齢者が気軽に集いあえる「つどい場」づくりを進めました。



第3回 八幡ふれあいウォーキング&カフェ

2 認め合い、ささえあいの輪が広がる人づくり

●学生ボランティアの養成

加古川市学生ボランティアKSV(Kakogawa Student Volunteer)養成講座を開催し、学生のボランティア活動への参画を促進しました。講座終了後も活動を継続し、学生ボランティアの市内イベントへの参加が進んでいます。

●こども食堂への支援

こども食堂の立ち上げや運営を支援し、こどもの居場所づくりを推進しました。

●災害時等相互協力協定締結団体との連携・協働

大規模災害発生時の迅速な復旧支援体制の構築にむけて、社協と協定を締結する団体の役割を明確にし、実践訓練に取り組みました。



夏祭りのサポート（KSV）

3 誰もが安心して相談できる支援ネットワークづくり

●相談支援のしくみづくり

多職種連携・協働に関する研修会や合同相談会などを開催し、継続して市内の相談支援ネットワークづくりに努めました。

【取組例】多職種参加の研修会、商業施設での合同出前相談、法律の専門職と福祉の専門職による合同相談 など

●調査研究等の取り組み

権利擁護支援に関する先進地視察や、独自の貧困対策支援のあり方を検討するなど、必要な支援についての調査研究を進めました。

【調査研究例】死後事務、身元保証、法人後見、学習支援 など

●地域の人材育成の取り組み

社会福祉士実習生を積極的に受け入れ、地域福祉の未来を支える人材の育成を進めました。また、社協の主任相談支援専門員が、市内事業所の相談支援専門員との事例検討などを実施し、地域の相談支援体制強化についての取り組みを進めました。

4 社会福祉協議会の機能強化に向けた基盤づくり

●組織体制の強化

理事会、評議員会、各種委員会を開催し、組織運営の健全性と透明性の確保に努めました。

●広報力の強化による社協活動のPR

「社協だよりかこがわ」の全戸配布やSNSなどの情報発信を通じて福祉情報を発信し、住民の福祉意識の向上と地域福祉活動への参加を促進しました。

●職員養成による組織力の強化

福祉の専門職としての資質向上と人材育成に取り組み、事務局体制の強化に努めました。

また、職員衛生委員会を立ち上げ、職員の健康と安全に配慮し、職員が働きやすい環境づくりを進めました。



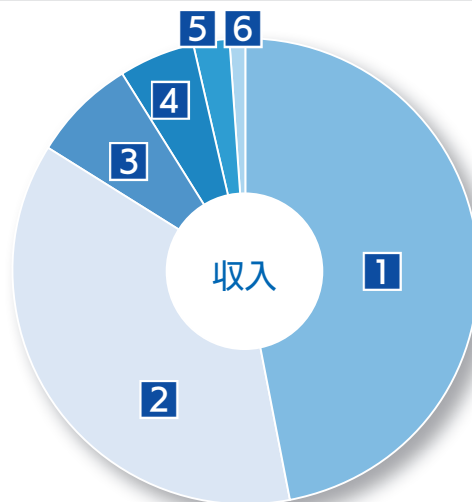
令和5年度

決算報告



収入合計：378,087,100円

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 受託金収入
178,512,997円(47.2%) | 4 障害福祉サービス等事業収入
19,826,267円(5.2%) |
| 2 経常経費補助金収入
138,825,783円(36.7%) | 5 その他の収入
9,727,144円(2.6%) |
| 3 会費収入
27,406,700円(7.3%) | 6 寄附金収入
3,788,209円(1.0%) |



支出合計：379,348,096円

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1 受託事業
122,841,947円(32.4%) | 5 当事者支援事業
30,785,499円(8.1%) |
| 2 法人運営事業
98,439,995円(25.9%) | 6 障害福祉サービス等事業
22,381,748円(5.9%) |
| 3 小地域福祉活動
・ボランティア推進事業
57,083,837円(15.0%) | 7 その他の活動支出
10,822,950円(2.9%) |
| 4 福祉会館運営事業
36,992,120円(9.8%) | |

問合先 総務係 TEL:079 (424) 4318 (代)

ボランティアナビゲーション

～個人ボランティアの活動紹介～

No.
115

ボランティアセンターでは、ギター演奏や将棋などの自分の趣味や特技を生かして活動する個人ボランティア登録を受付けています。地域の催しや福祉施設などからのレクリエーションボランティア依頼に対し、個人ボランティア登録者に協力を募り、コーディネートしています。

今回は、ギター演奏を通じて活躍する個人ボランティア^{きんとき みつる}金時 充さんの活動を紹介します。

Q. ボランティア活動を始めようと思ったきっかけは？

A. 以前から趣味のギター演奏で、人の役に立ちたいと思っていました。ボランティア活動をしている知人に相談したのがきっかけで、ボランティアセンターに登録しました。



福祉施設で演奏する金時さん

Q. ボランティア活動を通して嬉しかったことは？

A. 自分の演奏を聴いて「ありがとう」「癒やされた」「元気が出た」と言ってもらえることが嬉しいです。聴いてくれる人の笑顔も、活動の原動力になっています。

Q. ボランティア活動をする上で大切にしていることは？

A. 無理なく自分のペースで活動することが大切だと思います。

家族や周りの人からの理解を得ることも大事です。

活動先の福祉施設からは…

楽器演奏ができる職員がいないため、ボランティアに来てもらえて大変助かっています。利用者は、曲が流れると手拍子をしたり、メロディーを口ずさんでられます。また、ボランティアとの交流もよい刺激になるのでとても感謝しています。



ふくくん©

皆さんも特技を生かしたボランティア活動をしてみませんか？
個人ボランティアの登録は、下記までお問い合わせください。
福祉施設やサロンからのボランティア依頼も同時に募集しています。



かこちゃん©

【問合先】

加古川市ボランティアセンター

(まちづくり・ボランティア推進係)

TEL:079(424)4318(代) FAX:079(425)4711

メール:kakogawa-vc@kakogawa-shakyo.jp



ボランティアセンター
ホームページ



LINE公式アカウント

義援金ありがとうございます

義援金 だより



令和6年能登半島地震災害義援金 (令和6年4月1日～5月31日取り扱い分)〈敬称略〉

氏名・団体名	金額(円)
加古川駅サイト実行委員会	17,591
尾上ゴルフセンター	34,140
ライト・イット・アップ・ブルー加古川実行委員会	4,000
砂部第一老人クラブ	10,000
砂部第二老人クラブ	10,000
あさがおカフェ	15,960
総合福祉会館 募金箱受付	10,530

〈小計〉(7件) 102,221円 〈令和6年1月4日からの累計〉(29件) 902,048円

お寄せいただいた義援金は中央共同募金会を通して
各被災県共同募金会へ送金されます。

※なお、義援金送付先を指定された場合は、ご希望先へ送金しています。
被災地の一日も早い復興をお祈りしますとともに、ご協力いただきました皆さまに心からお礼申し上げます。

加古川市共同募金委員会

引き続き、義援金を受け付けていますので、ご協力をお願いいたします。

「令和6年台湾東部沖地震兵庫県義援金」も募集していますので、ご協力お願いします。

令和6年4月3日に台湾東部沖で大規模な地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。
阪神・淡路大震災で被災し、国内外から大きな支援をいただいた被災地として、甚大な被害を受けた被災者に対して、地域が一体となって温かい支援を行うため、義援金の募集をしています。

【問 合 先】加古川市共同募金委員会(事務局：加古川市社会福祉協議会)

TEL:079(424)4318(代) FAX:079(425)4711

善意銀行だより



たくさんの善意をありがとうございました。

●預託状況一覧

(令和6年4月1日～令和6年5月31日取り扱い分)〈敬称略〉

氏名・団体名	金額	氏名・団体名	金額	氏名・団体名	金額
橋本慎吾・真由美	10,000	川柳ニューサロン	3,000	チャッピー	2,000
匿名	3,000	アミパラ加古川店	300,000	U . N	3,000
中野喜人	10,000	大国団地朗友会 グラウンドゴルフ同好会	2,506	川柳ニューサロン	3,000
チャッピー	2,000	芝田京子	5,000	T . ヒロシ	1,000
野口町良野老人クラブ グラウンド・ゴルフ部	2,000	別府小42卒同窓会	11,897		
S38両荘中卒業生同窓会	5,100	匿名	1,000		
U . N	3,000	匿名	75		

〈小 計〉(18件) 367,578円 〈令和6年度累計〉(18件) 367,578円

加古川市
善意銀行

お知らせ

出前講座のお知らせ

社協では、出前講座を実施しています。少人数でも開催できますので、お気軽にお問い合わせください。

●実施日時：原則、月曜日～金曜日 10:00～17:00（講座費用：無料）

※上記の日時以外は、ご相談ください。

●手 続 き：3カ月程前までに、下記の問合先にご連絡をお願いいたします。先約などがある場合は、お断りすることがあります。

【問合先】総務係 TEL:079(424)4318(代)（土日祝・年末年始を除く9:00～17:00）

No.	内容(テーマなど)	参加対象者	所要時間
1	赤い羽根共同募金運動について	一般	60分
2	身近なささえあい活動の大切さ	一般	要相談
3	ボランティア活動の必要性	一般	60分
4	災害ボランティア活動とは	一般	60分
5	福祉ってなんだろう	小学生	45分
6	障害福祉について考えよう	一般	60分
7	成年後見制度とは	一般、専門職	30分～90分
8	生活福祉資金とは	一般、専門職	30分～60分

県民ボランティア活動助成

ひょうごボランティアプラザでは、皆さまの地域活動への主体的な参加を促し、ボランティア活動の裾野を拡大するとともに、活動の安定的かつ継続的な発展を図ることを目的として活動助成を実施しています。今年度、助成金の交付を受けようとするグループ・団体は、エントリー（事前申込）が必要です。

助 成 額 1団体あたり上限2万円
※エントリー受理数により助成額を決定しますので、減額になる場合があります。
※県外活動は助成対象外となります。

受 付 期 間 7月1日(月)～8月9日(金)

エントリー方法 社協で所定のエントリー書を受け取り、必要事項を記入の上、提出してください。
※申請にはいくつかの条件があります。詳細は、パンフレットをご確認ください。

問 合 先 まちづくり・ボランティア推進係
TEL:079(424)4318(代) FAX:079(425)4711(土日祝を除く9:00～17:00)

社会福祉法人 加古川市社会福祉協議会

〒675-8577 加古川市加古川町寺家町177-12（加古川市総合福祉会館内）
TEL:079(424)4318(代) FAX:079(425)4711



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

■住民基本台帳人口 257,951 人（男性 126,275 人 / 女性 131,676 人）
■年少人口（14歳まで） 30,818 人（男性 15,909 人 / 女性 14,909 人）
■高齢者人口（65歳以上） 74,264 人（男性 32,619 人 / 女性 41,645 人）
■高 齢 化 率 28.79 %（令和6.5.1現在）